

株主の皆様へ

第32期報告書

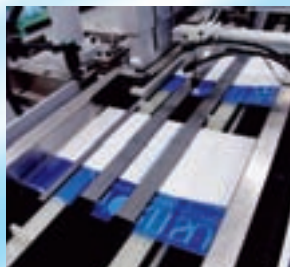
平成23年4月1日～平成24年3月31日

Business Report

KYORITSU
共立印刷株式会社



証券コード：7838



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年の東日本大震災により被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

なお、ここに当社の第32期報告書をお届けするにあたり、日頃のご支援とご厚情に心から感謝申し上げますとともに、当社の概況につきましてご報告申し上げます。

当連結会計年度における我が国経済は、東日本大震災からの復興需要や円高基調の服感もあり、緩やかな持ち直しの動きが見受けられますが、欧州の財政不安や長引くデフレの影響も根強く、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当印刷業界におきましては、一部の企業に積極的な広告活動が見られますものの、受注単価の下落、さらには用紙等の原材料や燃料費の高騰による原価高も加わり、大変厳しい経営環境となっております。

そのような中、当社といたしましては、オフセット輪転機

の生産能力を活かすとともに、色鮮やかな印刷を可能とするUV平台印刷機や、多品種・小ロット印刷を可能とするオンデマンド印刷機を増強し、バリエブル印刷という新たな市場を開拓し、総合印刷会社として顧客満足度の向上に努めてゆく所存であります。

平成24年6月



代表取締役会長兼CEO 野田勝憲
代表取締役社長兼COO 倉持孝

印刷領域の拡大をめざしています

印刷業界を取り巻く依然として厳しい経営環境下において、当社は、オフセット輪転機を中心としながら、多種多様な印刷物に対応するためUV平台印刷機及びオンデマンド印刷機を増強し、総合印刷会社として拡販活動を進めております。

また、第2四半期連結会計期間において、株式を追加取得し、連結対象となりました、広告の企画、制作業を営む子会社の株式会社SICの業績につきましても、堅調に推移しております。

5期ぶりの増収・増益となりました

当連結会計年度の業績は、売上高353億1千5百万円（前期比17.3%増加）、営業利益16億7百万円（前期比63.5%増加）、経常利益13億5千万円（前期比75.2%増加）、当期純利益8億2千4百万円（前期比95.3%増加）となり、平成19年3月期以来、5期ぶりに増収・増益を達成することができました。

チラシ・カタログなど商業印刷が増加しました

一部の通販カタログに受注減はありましたものの、流通チラシの部数増加や流通カタログ類の受注増加などにより、売上高は28億4千万円増加し、263億6千6百万円（前期比12.1%増加）となりました。

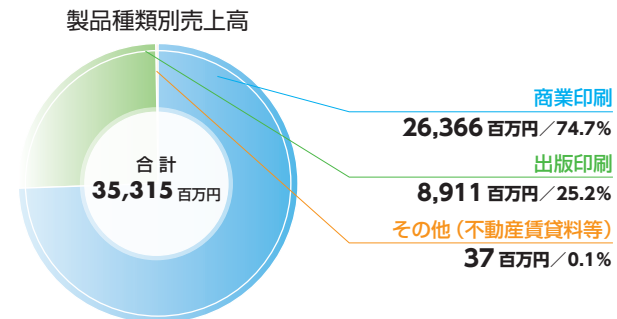
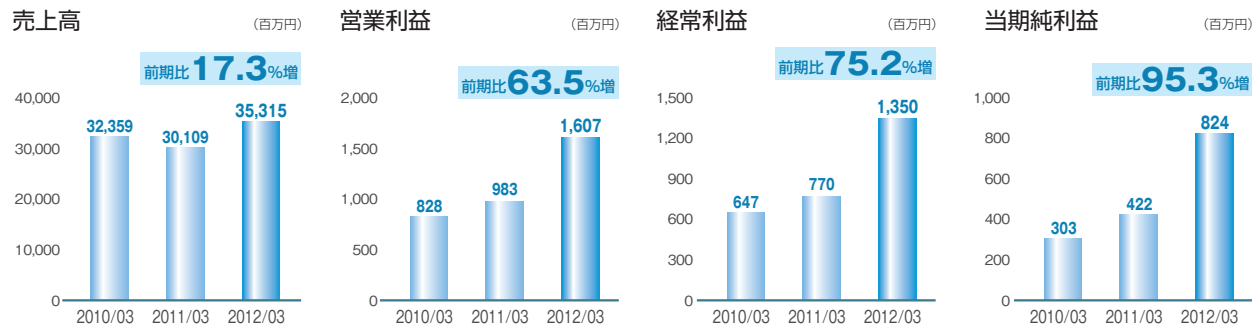


書籍・雑誌など出版印刷が増加しました

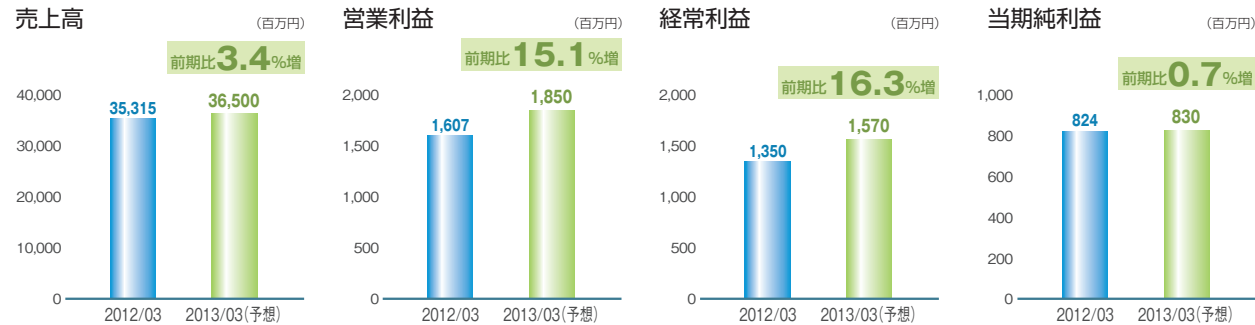
出版物の市場規模が縮小する中、一部の情報雑誌の部数等に減少はありましたものの、旅行雑誌の増加や新規受注などにより、売上高は24億9百万円増加し、89億1千1百万円（前期比37.1%増加）となりました。



連結業績ハイライト



連結業績予想



今期も、新しい設備が稼働しています

2012年2月に、サックマシンを設置しました。これにより、紙器やパッケージ等を印刷から組み立てまで一貫して行うことが可能になりました。

また、3月には圧着機を設置しました。今後は、ダイレクトメールの中でも需要の高い圧着ハガキ等にも対応してまいります。



折り、糊付け、組み立てを自動で行うサックマシン



紙をZ型に折り、特殊ニスで圧着すると両面に開くハガキができあがります

次期も増収・増益をめざします

次期におきましては、電力料の高騰など収益の圧迫要因がありますものの、設備更新により生産性向上を図るとともに、品質管理と原価管理を徹底し収益の確保に努めてまいります。

次期（平成25年3月期）の連結業績見通しにつきましては、売上高365億円、営業利益18億5千万円、経常利益15億7千万円、当期純利益8億3千万円を見込んでおります。

年間配当は7円50銭とさせていただきます

業績が順調に推移したことから、当期末の配当を50銭増配し4円とし、年間配当は7円50銭とさせていただきます。

次期の第2四半期末及び期末の配当はいずれも4円とし、年間配当を8円とさせていただく予定です。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

特集

新しい工場でさまざまな種類の印刷がはじまりました

たとえば…



たとえば、クリアファイル



たとえば、紙箱



たとえば、雑誌の付録



たとえば、カレンダー



たとえば、フォトブック



たとえば、製品パッケージ



たとえば、切れ込みや折り目のある印刷物



たとえば、うちわ

共立印刷は、あらゆる印刷媒体に対応できる印刷会社をめざしています。

2012年2月にサックマシンを設置し、紙器やパッケージ等の

“1つの紙箱ができるまで”を当社の特殊印刷・オンデマンド印刷を専門とする本庄第3工場の

組み立てラインが完成いたしました!

生産ラインをご覧ください。



完成しました!



印刷

見本を確認しながら色味等を調整しています。

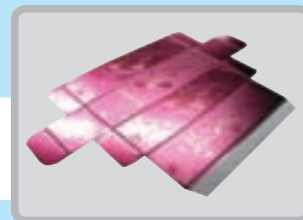


表面加工

一度に4つのパッケージを印刷します。



表面に光沢の出る加工を施しました。



型抜き

いよいよ、パッケージの原型が見えてきました。

折り 糊付け 組み立て

1 印刷・特殊印刷



UV8色印刷機



ニス



UV平台両面印刷機

平台印刷機では、特色インキなどを組み合わせた美しい印刷を行います。デザインに応じて、インキタンクにニスを入れ替え、グロスニス・マットニス・エンボスニスなどのニス引きも印刷機の高速ライン上で行うことができます。

2 表面加工



PP加工機



PPの貼り付け



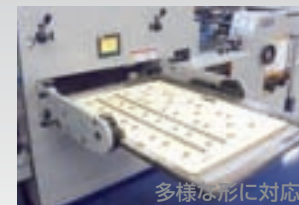
箔押し

店頭で目立たせたい商品パッケージなどは、表面に様々な加工を施すことで、高級感やデザイン性を演出することができます。表面に薄いフィルムを張り光沢を出したり、商品名をアルミで箔押ししたりするとインパクトのある仕上がりになります。

3 型抜き



抜き機



多様な形に対応



マシン目入れ

抜き機に通して、1枚の厚紙を4つに型抜きします。曲線やくりぬきなど、自由自在に型抜きをすることができます。また、紙以外のプラスチック等の型抜きもでき、当社では、うちわやクリアファイルなどを作成しています。

4 組み立て



サックマシン



折り



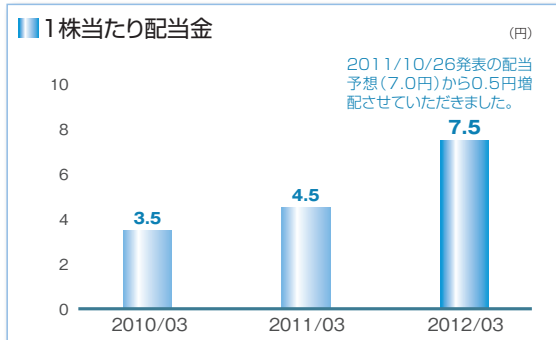
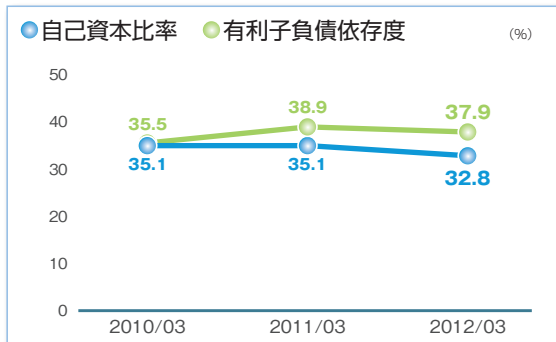
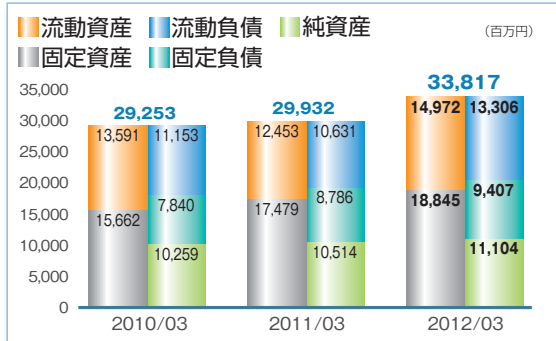
糊付け



組み立て

型抜きした厚紙を、自動で折り、糊付けをし、組み立てていきます。納品時は、場所をとらない平らな形で納品し、使用するときには簡単に組み立てられるような形でお届けします。

連結財務諸表



連結貸借対照表

(単位: 百万円)

科目	第32期(当期) 平成24年3月31日現在	第31期(前期) 平成23年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	14,972	12,453
固定資産	18,845	17,479
有形固定資産	15,433	15,597
無形固定資産	1,611	99
投資その他の資産	1,801	1,783
資産合計	33,817	29,932
(負債の部)		
流動負債	13,306	10,631
固定負債	9,407	8,786
負債合計	22,713	19,417
(純資産の部)		
株主資本	10,842	10,267
資本金	2,511	2,511
資本剰余金	2,505	2,505
利益剰余金	5,825	5,251
自己株式	△ 0	△ 0
その他の包括利益累計額	261	246
その他有価証券評価差額金	261	246
純資産合計	11,104	10,514
負債純資産合計	33,817	29,932

連結損益計算書

(単位: 百万円)

科目	第32期(当期) 自平成23年4月1日 至平成24年3月31日	第31期(前期) 自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高	35,315	30,109
売上原価	30,994	26,820
売上総利益	4,320	3,288
販売費及び一般管理費	2,713	2,305
営業利益	1,607	983
営業外収益	39	40
営業外費用	296	252
経常利益	1,350	770
特別利益	232	23
特別損失	139	58
税金等調整前当期純利益	1,443	735
法人税、住民税及び事業税	655	287
法人税等調整額	△ 35	26
少数株主損益調整前当期純利益	824	422
当期純利益	824	422

連結株主資本等変動計算書

(自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本					その他の 包括利益累計額 その他有価証券 評価差額金	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	2,511	2,505	5,251	△ 0	10,267	246	10,514
当期変動額							
剰余金の配当			△ 249		△ 249		△ 249
当期純利益			824		824		824
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						14	14
当期変動額合計			574		574	14	589
当期末残高	2,511	2,505	5,825	△ 0	10,842	261	11,104

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

科目	第32期(当期) 自平成23年4月1日 至平成24年3月31日	第31期(前期) 自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,467	1,217
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 905	△ 1,026
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 113	△ 938
現金及び現金同等物の増減額	448	△ 747
現金及び現金同等物の期首残高	6,499	7,247
現金及び現金同等物の期末残高	6,948	6,499

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果獲得した資金は、14億6千7百万円(前連結会計年度比2億5千万円の増加)となりました。これは、売上債権の増加はありましたものの、税金等調整前当期純利益の計上に加え、減価償却の実施等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、9億5百万円(前連結会計年度比1億2千1百万円の増加)となりました。これは、工場の設備投資や子会社の取得等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

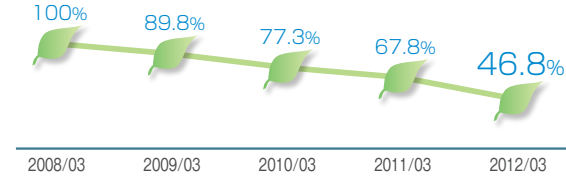
財務活動の結果使用した資金は、1億1千3百万円(前連結会計年度比8億2千4百万円の増加)となりました。これは、長期借入金の返済や配当金の支払い等によるものであります。この結果、有利子負債残高は、前連結会計年度末116億5千万円より11億6千6百万円増加し128億1千6百万円となりました。

環境への取り組み

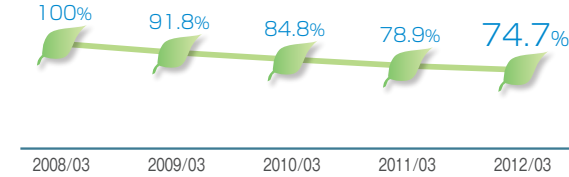
本社では、2012年3月期のCO₂排出量を2008年3月期比43.6%削減いたしました

当社は2008年よりCO₂削減プロジェクトを発足し、LED照明への切り替え、こまめな電源オフ、クールビズ・ウォームビズによる適切な冷暖房設定、両面コピーや資源回収など、全社員でCO₂の削減に取り組んでいます。

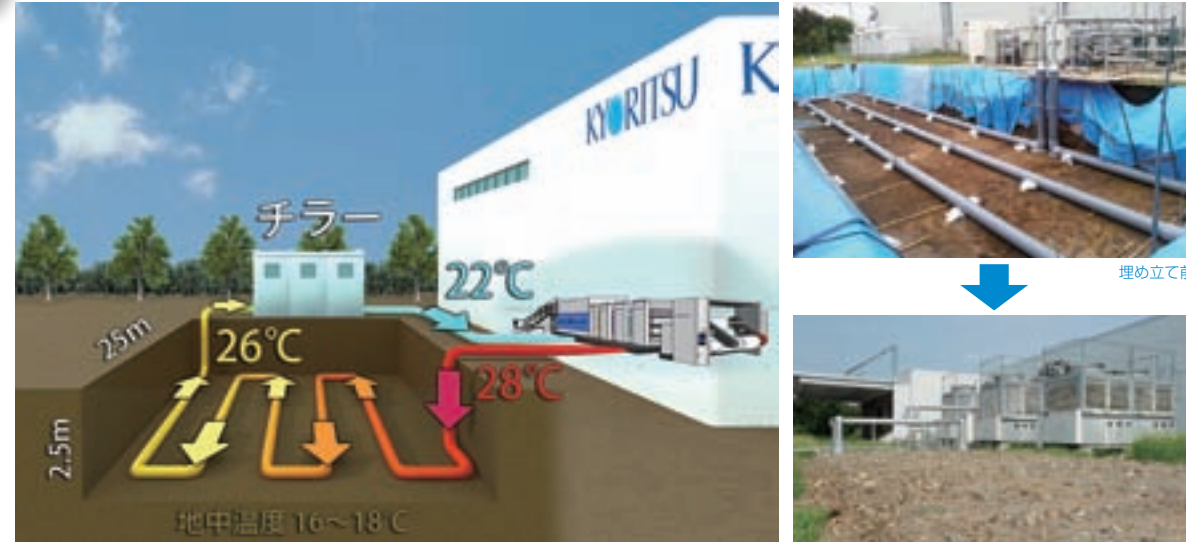
本社電力使用量の推移 2008/03を100%とする



本社ガソリン使用量の推移 2008/03を100%とする



地熱を利用した“チラー補助冷却”が注目されています



補助冷却設備とは？

節電対策として、印刷機で高温になった冷却水を、地下2.5mに張り巡らせた全長120mのパイプに5分程度通すことにより1～2℃下げ、チラー（冷却水発生装置）の負荷を軽減しています。

低温乾燥インキとは？

共立印刷は、メーカーと共同開発した20℃の冷却水でも印刷可能なインキを使用しています。（通常16℃）

会社概要

平成24年3月31日現在

会社概要

本社所在地	東京都板橋区清水町36番1号
設立年月日	昭和55年8月1日
資本金	25億1,135万円
従業員数	589名（連結）
工場	<ul style="list-style-type: none"> ■本庄第1工場・本庄第2工場・本庄第3工場 埼玉県本庄市いまい台1丁目32 ■製本第1工場 埼玉県児玉郡上里町大字嘉美1600-13 ■製本第2工場 埼玉県本庄市いまい台2丁目74 ■製本第3工場 埼玉県児玉郡上里町大字嘉美1424-1
営業所	札幌／名古屋／大阪／高松
子会社	(株)共立製本マーケティング (株)SIC

役員構成

平成24年6月28日現在

代表取締役会長	野田 勝憲	最高経営責任者 (CEO)
代表取締役社長	倉持 孝	最高執行責任者 (COO)
取締役	中井 哲雄	(株)SIC代表取締役社長
取締役	佐藤 尚哉	管理本部長
常勤監査役	川尻 建三	
監査役	窪川 秀一	公認会計士・税理士
監査役	木村 純	
執行役員	平川 清三	第1営業本部長
執行役員	狩野 博紀	第2営業本部長
執行役員	船木 敏勝	第1製造本部長

株式の状況

平成24年3月31日現在

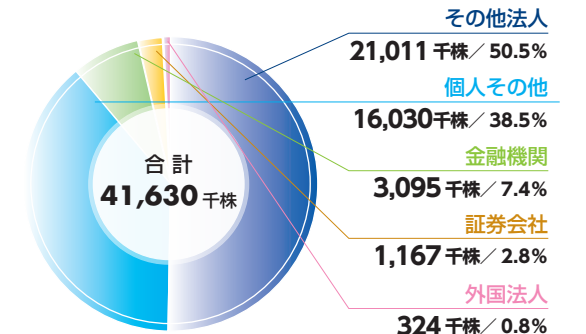
株式の状況

発行可能株式総数	130,720,000株
発行済株式総数	41,630,000株
株主数	4,170名

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
(有)ウエル	6,589	15.8
野田 勝憲	4,782	11.5
東京インキ(株)	2,190	5.3
(株)小森コーポレーション	2,030	4.9
共栄会	1,283	3.1
井奥 貞雄	1,136	2.7
(株)桂紙業	1,060	2.5
(株)ペルーナ	1,000	2.4
(株)プロトコーポレーション	1,000	2.4
サカタインクス(株)	1,000	2.4

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日
	期末配当金 3月31日
	中間配当金 9月30日
	(中間配当を実施する場合)
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-782-031 (フリーダイヤル)
同取次窓口 公告の方法	三井住友信託銀行株式会社 全国各支店 電子公告の方法により行います。 但し、やむをえない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL http://www.kyoritsu-printing.co.jp/
上場取引所	東京証券取引所 市場第一部

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

但し、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

KYORITSU

共立印刷株式会社

〒174-8860 東京都板橋区清水町36番1号
TEL.03-5248-7801(管理本部)

